

私たちのまち [錦江町] の トピックス

暮らしの情報や、みんなの活躍など、まちの話題をピックアップしてご紹介します。

本番さながらの緊迫した訓練の様



備えあれば憂いなし！

9月6日、錦江町総合運動公園にて、防災関係機関（6団体）総勢約100名参加のもと、集団災害事故対策訓練が実施されました。

訓練内容は、中規模の落石が発生し、路線バス・乗用車を直撃したという想定で行われ、通報から救出・運搬までの一連の流れを見事な連携を取りながら遂行していました。

町民の為、もしもに対処すべく訓練されている様子を見て、町民の1人としてとても頼もしく感じました。

『忘れた頃にやってくる』というのが災害です。皆さんも避難場所・危険箇所の確認や、家族間の連絡方法を家族で話し合ってみてください。

一生懸命清掃する子ども達



ビーチクリーン大作戦

10月5日に錦江中学校の3年生が、10月19日に大根占小学校の5・6年生が「海岸クリーンアップ作戦」を実施しました。

これは、海岸のゴミ拾いを行うだけでなく、鹿児島大学が研究しているゴミと海流の関係を調べるサンプル採集も兼ねており、子ども達は海岸で拾ったゴミを分別しながら全ての数量を数えました。

錦江中3年の折田和馬さんは「ゴミの量の多さにびっくりしました。とても残念でたまりません。」と話してくれました。

折田さんだけに限らず子ども達は、一様に同じ思いを抱いているようでした。と、言うのもゴミの中にはタバコの吸い殻やアルコールの缶なども多く含まれており、一部の大人達のマナーの悪さを顕著に現し

ていたからです。

漂着したゴミも多くあります。しかし、錦江町の海岸で捨てられたゴミも多くありました。子ども達にきれいな自然を残すためにも、もう一度考えなければならない問題なのではないでしょうか。



心の健康づくり

10月14日、「健康づくりの会」（井手口政頼会長、会員78名）の皆さんが3班に分かれて、町内の清掃作業を行いました。

これは、会発足当初から毎年続けられているもので、今年で8回を数えます。

今回参加された40名の皆さんは、慣れた手つきで手際よく作業を進めていました。

会員の久保幸雄さん（鶴園自治会）は「私達は『体の健康・頭の健康・心の健康』づくりをモットーに活動しています。清掃作業は、この三つの全てが健康になります。また、昨年からはじめた町境の公衆トイレがきれいになったとの声が届き大変嬉しく思っています。」と話されました。

今回、きれいになった場所を見て利用者が気持ちよく利用する姿が目に見えようでした。

このような素晴らしい活動がますます広まっていくことを願います。参加者の皆さん、本当にありがとうございました。

